

社会福祉法人光温会温水ケアセンター

令和3年度事業報告

総括

令和3年度の温水ケアセンター全体の事業活動収支決算は、約900万円の黒字を確保することが出来ました。

理由といたしましては、令和3年12月まで、新型コロナウイルスの影響がデイサービスの利用者に見られず、一定の収入を確保できたこと。また、ケアマネージャーの担当件数が堅調に伸びて、黒字を確保できたことが主な要因となっています。

通所介護

通所介護の令和3年度の介護保険事業実績については、収入が約1億1,500万円。支出が約1億200万円で、差し引き1300万円の黒字となっています。

理由といたしましては、令和3年12月まで、新型コロナウイルスの影響がデイサービスの利用者に見られず、一定の収入を確保できたこと。また、令和元年度に大規模な施設の修繕や施設整備を終えたため、大きな出費がなかったことなどが主な要因となっています。

(総合事業) 予防通所介護

(総合事業) 予防通所介護の令和3年度の介護保険事業実績については、収入が約420万円。支出が約850万円で、差し引き430万円の赤字となっています。

理由といたしましては、利用者や収入は、前年度に比べて増加していますが、他の事業との事務費や光熱費などの按分を見直したため、通所介護と一体的に行っている(総合事業) 予防通所介護の活動費用が膨らんだことが、主な要因となっています。

訪問介護

訪問介護の令和3年度の介護保険事業実績については、収入が約420万円。支出が約780万円で、差し引き280万円の赤字となっています。理由といたしましては、訪問介護と一体的に行っている（総合事業）予防訪問介護の利用者が伸び、訪問介護の利用者とほぼ同じ数になった為、相対的に訪問介護の利用者が減少したことが主な要因と考えられます。

（総合事業）予防訪問介護

（総合事業）予防訪問介護の令和3年度の介護保険事業実績については、収入が約470万円。支出が約220万円で、差し引き250万円の黒字となっています。

理由といたしましては、先ほどの訪問介護の所でも説明しましたが、地域包括支援センターからの紹介が増えていることや、他の事業所では、要支援の方を断る事業所があることなどが、（総合事業）予防訪問介護の利用者の増加や、収入の増加につながっていると考えられます。

障がい者福祉サービス事業

障がい者福祉サービス事業の令和3年度の介護保険事業実績については、収入が約100万円。支出が約98万円で、差し引き2万円の黒字となっています。

理由といたしましては、障がい者福祉サービス事業のご利用者は、厚木市障がい福祉課や障がい者総合相談室、地域相談室が中心になって行っているため、そちらからのセンターに対する相談等で利用を開始することが多く、また訪問介護の利用も月によって変動があるため、結果としてこのような事業実績になったと思われまます。

居宅介護支援

居宅介護支援の令和3年度の介護保険事業実績につきましては、収入が約1,150万円。支出が約1,020万円で、差し引き130万円の黒

字となっています。

理由といたしましては、常勤2名の体制となって、ケアマネージャーの活動がやりやすくなったことと、経験年数も増えて、仕事のスピードが上がったことなどが、主な要因として考えられます。

独自配食業務

独自配食業務の令和3年度の事業実績については、収入が約16万円。支出が約85万円で、差し引き69万円の赤字となっています。

理由といたしましては、温水ケアセンター独自の事業となってからは、デイサービスを利用している方の利用が増え、送迎を利用した配達となっているが、事業の按分の見直しにより、人件費や業務委託費などが増えているためと思われる。